

景品	抽選方法
☆Sushi Taro 様ご提供：食事券 300 ドル X 1 名、150 ドル X 2 名 ☆Ruru Photos 様ご提供：家族思い出写真撮影（1 時間、DMV エリア、\$375 相当） https://www.ruruphotos.com/ ☆SP 速読学院様ご提供：「3 倍の速度で読めるようになる」速読講座（3 グループ分 ※1 グループ最大 5 名まで受講可能） https://www.pc-sokudoku.co.jp/ ☆WTOP ラジオ局様ご提供：スタジオツアー & アナウンサー体験（1 時間程度、2 家族まで） https://wtop.com/ ☆三原校長先生と休み時間に一緒に鬼ごっこ ☆山内教頭先生と休み時間に一緒にかくれんぼ ※遊びの内容は要望に応じて変更 OK!! （当選したご家庭の最年少のお子様が在籍するクラス全員） その他：65 周年記念 T シャツ、WJLS トートバッグ、日本の文房具、縄跳び、リコーダー、図書館から選ぶ古本 5 冊等	20 ドルを 1 チケットとし、寄付金額に応じてチケットを割当て （例：100 ドル寄付した方はチケット 5 枚） 今年ならではの、 新しい景品も登場

【バイク・お惣菜セールを開催します！】（青い封筒募金）

12 月 21 日 9：45-12：00 1 階ピックアップドロップオフ待機室

コロナ禍での休止を経て、バイク・お惣菜セールが復活します。一息つく休憩のお茶菓子も、お昼ご飯も、放課後のおやつや晩ご飯のお助けにぴったりのお惣菜なども、この日は全部まとめてここで調達しませんか？ お支払方法は、現金・小切手・Venmo がご利用いただけます。



協力してくださった方には、毎年集めている方もいらっしゃる干支バッジをもれなくプレゼントします。バイクセールは商品がなくなり次第終了します。

2018 年のバイクセールの様子

バイク・お惣菜セール 提供者大募集中 !!

お菓子に限らずご飯もの、お惣菜など手作りのお料理を寄付していただける方を大募集しています！ご協力いただける方にはささやかなお礼として、売上金額に応じてラッフルの参加チケット（\$20 で 1 枚）を差し上げます。少量からでもご提供いただける方は、下記のリンクよりご登録をお願いいたします。

お菓子作りが得意な生徒の皆さんも、保護者の方を通じてぜひご登録ください。

登録締め切りは 12 月 18 日(水)午後 6 時です。

登録はこちらから <https://forms.gle/AXxda1gWvTi4aqnb6>

お問い合わせは (blue_envelope@wjls.org) までお気軽にどうぞ。

よろしくお願いします



バイク・お惣菜セールに参加して青い封筒募金キャンペーンを盛り上げましょう！

新入学面接の受付が始まっています（教育人事部）

現在 2025 年の新入学面接申し込みを受付中です。詳細はこちら↓

(<https://www.wjls.org/wjls2/files/temp/2025-Shinkinyugakuboshu.pdf>)。学外のお知り合いや
お友達で入学を希望される方がいらっしゃいましたら、ぜひお知らせください。なお、本校在学の
生徒に関しましては入学申し込み特設サイトからのお申し込みは必要ございません。12 月中に実施
される「2025 年度（令和 7 年度）進級申し込み」フォームにて、進級の意思をお示ください。



2025 年度の入学式は、年中組と小学 1 年生を対象に実施されます。本校では毎年 4 月に日本と同様の形式で
式典を行っています。本校の特徴として日本語学習面が強調されがちですが、このような式典の参加経験は、日
本文化の習得に大きな役目を果たしています。文部科学省の学習指導要領にも、「儀式的行事は、学校生活に有
意義な変化や折り目を付け、厳粛で清新な気分を味わい、新しい生活の展開への動機付けとなるような活動を行
うこと。」「入学式や卒業式などにおいては、その意義を踏まえ、国旗を掲揚するとともに、国歌を斉唱するよう
指導するものとする。」との記載があります。これらのことから日本の教育において大切な行事であることが
伺えます。保護者にとっても、子育ての一節目として、この日の記念写真が大事な思い出となることでしょう。
本校の伝統的な入学式を、2025 年度もぜひ多くのご家庭で経験してほしいと願っています。

【イラストについて】



こちらで使用しているかわいらしいイラストは、本校保護者でアーティスト／デザイナーの杉本純子さ
んが作成してくださいました。今年度新設された年中組のためにご提供い
ただいたイラストを、年中組募集ポスターなどで目にした方もいらっしゃる
かと思います。「あのイラストのかわいらしい子供たちが幼稚園児から 1
年生に成長して入学式を迎えた姿を見たい！」という保護者からの強いご
要望にお応えして、このたび杉本さんが再び描き下ろしてくださいました。ちょっぴ
り顔立ちもお姉さんお兄さんになったこの子たちのこれからの活躍に、応援よろしく願います。杉本純子さん！
ありがとうございました！



管理運営委員の募集について（随時）

管理運営委員会では随時委員の募集をしています。お子様の卒業や任期満了による委員退
任だけでなく、お仕事やご家族の事情により、当初の予定より早く欠員が出る場合があります。
まずはご興味のある業務内容についてお話しできたらと思いますので、お気軽に管理運
営委員会 (uneiiinkai@wjls.org) までご連絡ください。

毎月行われる委員会では、様々なバックグラウンドを持った委員が各案件に真摯に向き
合い、意見を交わしています。共通しているのは、学校を支えていこう！という気持ちで
す。本校の強みである多様性を感じたり、新しい学びがあったり、貴重な体験ができることは間違いありません。
ぜひ、ご検討ください。学校の組織図・管理運営委員会の役割に関しては、本校ウェブサイトの「本校の組織と運
営」のページ (https://www.wjls.org/aboutus/message_from_committee/) をご参照ください。



全校アンケートって？何のため？答えても役に立ってるの？



皆さんの疑問にお答えします！（教育人事部）

年末年始に毎年学校から送られてくる全校アンケートというものがあります。皆さん、答えていますか？ちょっと面倒くさそうだな... 答えても何か変わってるの？学校から送られてくるアンケートには様々なものがありますが（最近だと運動会や総会についてのももありましたね）回答がどう使われているのかいまいちわからないものではないでしょうか。

そこで今月から数回に分けて全校アンケートについて、そしてそこに関わる日本語学校の「なぜ？」をトピックごとに深掘りしてみたいと思います。第1回は、アンケートを行っている理由と、皆さんからいただいた回答がどのように使われているかについてお話ししたいと思います。

なぜアンケート？いつからやってるの？

全校アンケートの歴史は長く、何らかのデータが残っている形では少なくとも2000年代前半には行われていました。その前も違った形であっても、全校対象にした広範囲の意見収集は定期的に行われていたと思われます。年によっては保護者、教員、そして小学部も含めた生徒対象のアンケートを行っていましたが、2023年は保護者、教員対象のみとなりました。質問内容はその年によって異なること（2021年はコロナ禍、2023年は65周年記念事業など）もありますが、一定数の質問は毎年ほぼ同じ形で聞いています。

例えば、日本語学校に子供を通わせる理由や授業料の水準についての質問は、定点調査として年ごとの推移を把握できるという利点があります。授業料が引き上げられた場合、授業料を適切だと感じる方の割合がどのように変化するのかが学校運営としては重要なデータポイントになります。日本語学校に通わせる理由についての質問回答も時代のニーズ、コロナ禍を経ての日本語学習のオプションの多様化にどのように対応していくかを考える上で大切な物差しです。アンケートの回答者数（回答率）は毎年変わるので変化の状況を測る際には注意が必要ですが、このように皆さんからのインプットは柔軟で機能的な学校運営には欠かせません。

具体的にアンケートのデータで何が変わるの？何か変わったの？

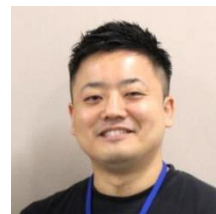
新しい科目の追加はアンケートのデータが考慮される一例です。2023年のアンケートで「他に学ばせたい教科」を聞いた質問では、回答者174名中78名（45%）の方が理科の追加を希望していました。もちろん新しい科目を既存のカリキュラムに組み込むには様々な要素を勘案しなくてはなりませんが、総合的なディスカッションを始めるには保護者をはじめ関係者の意見の汲み取りが不可欠です。

次回からは、保護者対象アンケートで特に意見・質問・要望の多かったトピックについて、それらの回答を反映しながら日本語学校についての素朴な質問「〇〇はどうしてそうなるの？」に答えていきたいと思います。

現在予定しているトピックは、「当番、お手伝い」「学習計画表」「日本語学校の運営とお金の話」です。お楽しみに！そして、これを読んで次回の全校アンケートに答えてみようかなと思われる方が少しでも増えれば幸いです。



2021 年度より管理運営委員会に所属している牛嶋と申します。最初の 3 年間は財務部員として、今年度は、新設されたパートナーシップ部の部長兼副委員長を務めております。財務部員としては主に月次監査を担当し、学校の経理処理が適切に行われているかを調査・確認してきました。また、内部および外部環境を分析して学校経営が適切に進められるよう管理運営委員会に提言も行ってきました。近年、コロナ禍以降の生徒数の減少やインフレによる運営コストの増加など、学校が直面する課題は深刻さを増しています。この状況を受け、昨年度はこれらの問題に対応するため多くの議論を重ねました。その結果、いくつかの施策を試行することとなり、その一環としてパートナーシップ部が新設されました。



パートナーシップ部の役割

パートナーシップ部は、その名称のとおり、当校と外部団体様（DMV 地域だけでなく、他州や日本の企業・団体様も含む）とのパートナーシップの深耕を進めることを目的としています。パートナーシップの定義としては、寄付金の授受関係にとどまらず、共同企画の起案・運営や情報発信の協働など、双方にメリットのある関係を構築・維持していくことにあります。当校はこれまでも、いくつかの企業・団体様と長期間にわたりそうした関係を築いてきたのですが、パートナーシップ部は既存の関係をさらに強化するとともに、新たな企業・団体様との連携を開拓し、地域社会との結びつきを深めながら授業料以外の収入源も確保していく計画です。

さらに、これまで一部の外部団体様との窓口を特定の保護者役割の方々に長年にわたり担っていただいていたが（本当にありがとうございました!!）、管理運営委員会内に設立されたパートナーシップ部が担当することで、今後は「組織として」より主体的に取り組むことが可能になりました。これにより、当校の掲げる「持続可能な学校運営」を支える体制づくりにも貢献できると期待しています。



好評な野菜や牡蠣のファンドレイズ活動

今年度の取り組み

パートナーシップ部では現在、SNS の運用とファンドレイズ活動を中心に担当しています。今春に開設した Instagram では、学校からのお知らせのまとめを毎週投稿するほか、行事の様子も情報発信しています。着実にフォロワーを増やし、将来的には広告受注が可能な魅力的な媒体に育てることを目指しています。ファンドレイズ活動では、保護者の皆様に人気のある鈴木ファームや牡蠣の販売を継続しつつ、財務部・広報部・事務局と共同で「青い封筒募金キャンペーン」の支援企業・団体様の開拓やラッフル景品の充実にも力を入れています。

今後の展望

パートナーシップ部には、まだまだ「やるべきこと」「やれること」があります。今年度は担当業務のほとんどが初めての経験で、多くの学びがありました。まずは安定化を優先したため、今年度は当初の計画に対して、5～6割ほどの着手・達成率だと感じています。無償の活動であるため、本業のように各タスクやプロジェクトを進捗させることは不可能です。ただ、管理運営委員会内に設立された「部」として、今後パートナーシップ部に携わる方々が、その時々ニーズや状況に合わせて、学校や生徒に有益な施策を行ってくれると期待しています。パートナーシップ部について語りだすと紙面が足りなくなるので終わりますが、一言でまとめると「学校をより良くするため」に新設され、5 年、10 年と活動を継続する中で必ず将来の学校とお子様に資する取り組みとなることを確信しています。

副委員長としての取り組み

副委員長としての取り組みで最も力を入れたのは、月次の運営委員会の会議の効率化と開かれた環境づくりです。以前は、午前中に開始した会議が昼休憩を挟みつつ、お迎えの時間帯にまで及ぶことが常態化していました。コロナ禍では夕方からオンライン会議を開始し、途中休憩を挟んで会議終了は夜間といった状態でした。現在では、すべての会議が昼頃までに終了しています。この成果は、議論の要点を絞り、委員長や各発表者と事前の準備を工夫したことによるものです。特に委員長と事前に会議の方向性を共有し、各発表者の求める落としどころを確認することで、効率的で集中した議論を実現しました。その結果、長時間に及ぶ会議が減少し、運営効率が大幅に向上しました。

また、現在の会議は対面を基本としつつも、オンラインでも参加できるハイブリッド形式を採用し、家庭や仕事の事情などで対面で参加できない場合でも、活発に議論に参加できるように配慮しました。以前は、対面参加ができない場合は、(会議参加はそもそも必須ではないので)不参加で構わないといったスタンスでしたので、私のように乳幼児を抱える運営委員としては参加のハードルが非常に高い状況でした。現在は、オンライン参加者の顔や会場の様子を共有でき、どちらの形式でもスムーズな議論ができる環境を整えています。私は、このハイブリッド形式がどのような状況の運営委員にも「開かれた会議」を提供し、ひいては「公平で公正な運営」を支える大きな一歩だと確信しています。



毎月の委員会の短縮化と効率化を実現

学校運営に疑問を抱いた場合にどうしたらよいか

皆様は学校に様々な形で関わる中で、「なぜこのやり方なのだろう?」「前に通っていた補習校ではこうだったのに、なぜ WJLS では違うのだろう?」と感じたことはないでしょうか。ぜひそうした疑問を大切に、学校をより良くするための行動につなげてください。そうした疑問を学校関係者に届ける方法をいくつかご紹介します。



総会は学校運営に直接意見が届く貴重な機会です

まず一番難易度が低いのは、お知り合いに管理運営委員がいれば、その方にお伝えすることです。基本的に管理運営委員は学校を良くしたいと思っている方が多いので、力になってくれるものと信じています。

次に難易度が低いのは、総会で質疑応答の際に提言していただくことです。一度のご提言では国会答弁のような回答が返ってくるのみで、大きな変化は期待できないかもしれません。しかし、繰り返し提案することで実現に向けた動きにつながります。事前質問をメールで提出することも可能です。

最後にお勧めしたいのは、いっそのこと管理運営委員になってしまうことです(笑)。大変そうと思われるかもしれませんが、私見では、教室当番や安全当番、卒業関連の係といった役割も時間拘束はそこそこあって大変です。ただ大変さの性質が違いますので、学校を良くしたいという情熱がある方にとっては、非常にやりがいのある役割です。

学校ウェブサイトの校長挨拶に「開校当初は、在アメリカ合衆国日本国大使館の一室を借りて授業を行う全児童数 29 名、教員 2 名の小さな学校でした」とあります。私は、開校を提唱し実現に尽力された先人たちの志と行動力に尊敬と感謝の念を抱きます。革新的な先人のおかげで、今のワシントン日本語学校は存在し恩恵を受けています。開校 66 周年となる現在は、開校時と比較にならないほど安定しているのではないのでしょうか。ただ、過去の良いところは維持しつつ、時代に合わなくなっているところは改善することが組織として必要です。ワシントン日本語学校が温故知新の精神で、これからも素晴らしい学習環境を多くの子供たちに提供し続けることを願っております。



YAMATO
TRANSPORT
U.S.A.

INTERNATIONAL
MOVING SERVICE



お荷物の多い方!時間のない方!
面倒なお引越は全てまかせて
ら〜くら〜!



安心

引越
らくらく 海外パック

箱に入らない家具や
自転車なども送りたい、だけど安く
済ませたい!そんな方へ



丁度
いい

ベーシックプラン

定形の箱に入るお荷物だけ
ご自身で梱包をして節約!
すぐに必要ではない
お荷物は船便で割安に



節約

単身プランSea

定形の箱に入るお荷物だけ
ご自身で梱包をされる方
必要な荷物を
最短の所要日数でお届け



早い

単身プランAir

各サービスの詳細はウェブサイトにてご覧いただけます /

www.yamatoamerica.com/cs/



フリーダイヤル 5 4 5 6 5 8
1-866-5-KIKOKU

日本以外の世界中へのお引越・米国内のお引越も!

米国ヤマト運輸 ワシントンDC支店

22930 Quicksilver Drive, Unit 115
Dulles VA, 20166

Phone: (703) 661-3501

Email: wasoperat@yamatoamerica.com

ここに掲載されている会社・団体を利用したことによって生じたいかなる損害に対しても、ワシントン日本語学校管理運営委員会は一切責任を負うものではありません。

委員長からの報告



皆様、こんにちは。サンクスギビングの長い休暇が過ぎ、12月も半ばになりました。日本語学校の年内授業日はあと2日で、それを過ぎたらまた長い冬休みが始まります。この時期になると、月並みかもしれませんが、1年があっという間に過ぎてしまったことを実感します。その1年間に様々なことを吸収し、心も体も学習でもどんどん成長していく日本語学校の子供たちに、置いていかれないようにしなければいけないなあと思うところです。

今月の管理運営委員会では、12月3日より新事務局員となった望月菜乃（もちづき・なの）さんの紹介、委員2名の退任に伴う欠員補充の推薦と承認から始まり、運動会に係わる新コーディネータの設立、管理運営委員主体で行う学校ツアーの今後について話し合い、数年ぶりに紙の「青い封筒」が復活した青い封筒募金計画の情報共有など、多岐にわたる議題について協議しました。

管理運営委員の皆さんは、学校の運営母体として、保護者の代表として、陰に日向に日本語学校を支えてくださっています。お仕事やご家庭のことなど、お忙しくされている中、本当に頭が下がります。退任を迎えた委員からは、管理運営委員会で一言ご挨拶をいただきますが、今月で退任となった委員の方々のみならず、私が委員になってから退任された全ての方が「管理運営委員をやってよかった」とおっしゃっています。それだけ充実していて、個人にとっても学びの多い活動だからだと日々感じております。学校を支える方法は、保護者役割や教室当番を担当すること、募金に協力すること、学級の代表になることなど様々です。そして、管理運営委員になることもその一つです。興味のある方、話だけでも聞いてみたい方、ぜひ（uneiiinkai@wjls.org）へメールをお送りください。もちろん直接お声がけいただいても大丈夫です。

引き続き、保護者の皆様からのワシントン日本語学校及び管理運営委員会へのご支援をよろしくお願い申し上げます。



委員長： 栗原美恵
副委員長： 牛嶋崇（パートナーシップ部部長兼任）
総務部： 青柳陽介（部長）・大杉真名美・大光麻紀子・カリクレッテ郁子・ジャコブソン彩子
財務部： 安東宇（部長）・生島奈美
教育人事部： 向山こずえ（部長）・大島由美子・寺部正記・中村公紀・羽田真実子
広報部： 竹内由美（部長）・ワイズ洋子
学年代表： ジョーンズ紀子（低学年代表）・シーブルック留実（中学年代表）・大鶴絵理（高学年代表）

